

2021年度(令和3年度)工業用水道事業の決算見込みの概要

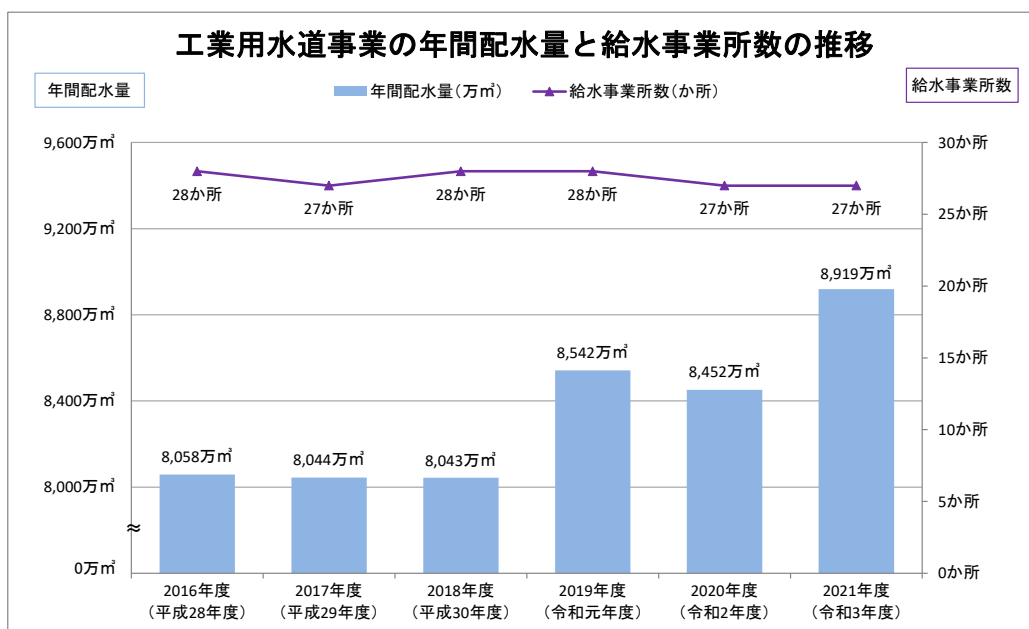
2021年度(令和3年度)工業用水道事業の決算見込みの概要をお知らせします。

工業用水道事業

1 業務状況

工業用水道事業の業務状況は、次のとおりです。

事 項	2021年度 (令和3年度)	2020年度 (令和2年度)	増 減
給 水 事 業 所 数	27 か所	27 か所	0 か所
配 水 量	89,191,425 m ³ /年	84,518,805 m ³ /年	4,672,620 m ³ /年
一 日 平 均 配 水 量	244,360 m ³ /日	231,558 m ³ /日	12,802 m ³ /日



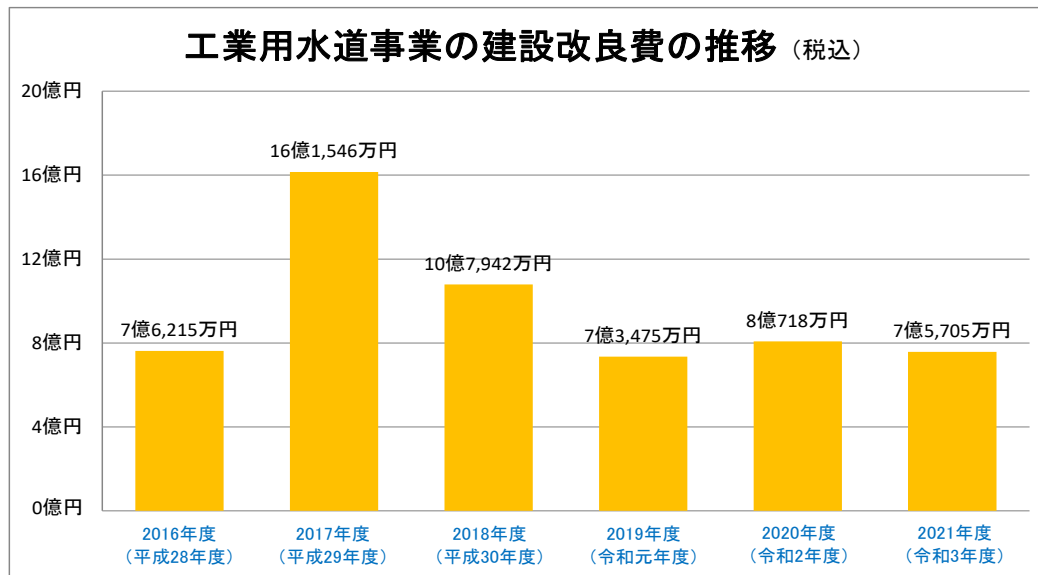
2 建設改良事業の概況

2021年度(令和3年度)に実施した主な建設改良事業は、次のとおりです。

○配水管及び施設改良事業【7億4,181万円】

サヤ管推進工事(工水配改2-1)

中津原浄水場濃縮設備取替工事 外



サヤ管推進工事(工水配改2-1)



中津原浄水場濃縮設備取替工事

3 財政状況等

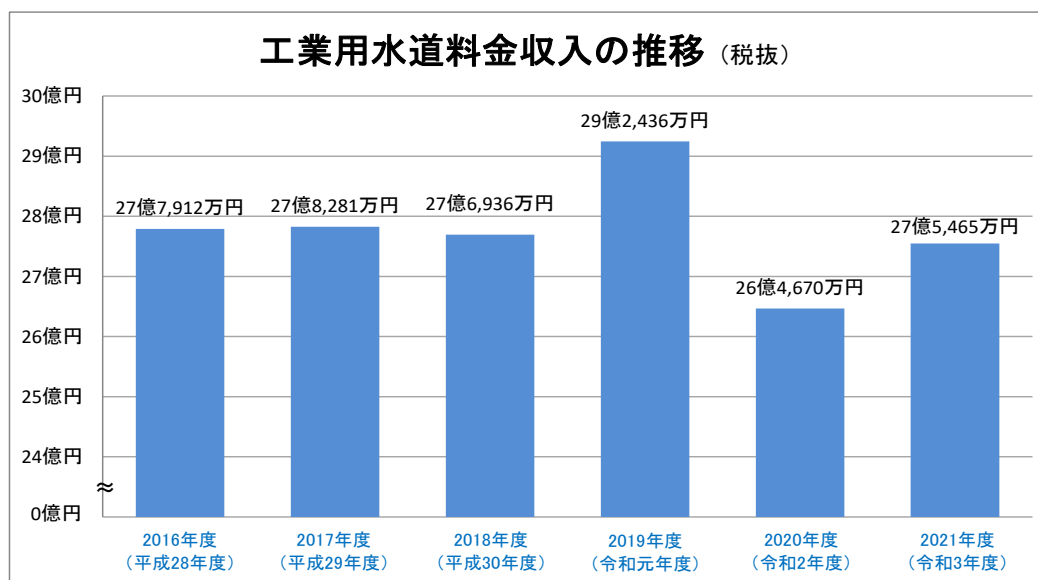
(1) 収益的収支(工業用水道料金の収納や工業用水の供給などに伴い発生する収入と支出)

本年度の経営収支状況について、事業収益は、給水収益の増加などにより、前年度と比較して、1億5,723万円(5.4%)増加し、30億4,690万円となりました。

一方、事業費用は、委託料や動力費などが増加したものの、修繕費や負担金などが減少したことにより、前年度と比較して、2,794万円(1.3%)減少し、20億9,211万円となり、差引9億5,480万円の当年度純利益を計上しました。

(税抜)

事 項	2021年度 (令和3年度)	2020年度 (令和2年度)	増 減
収 益 的 収 入 (うち、工業用水道料金収入)	30億4,690万円 (27億5,465万円)	28億8,968万円 (26億4,670万円)	1億5,722万円 (1億795万円)
収 益 的 支 出	20億9,210万円	21億2,005万円	△2,795万円
差 引	9億5,480万円	7億6,963万円	1億8,517万円

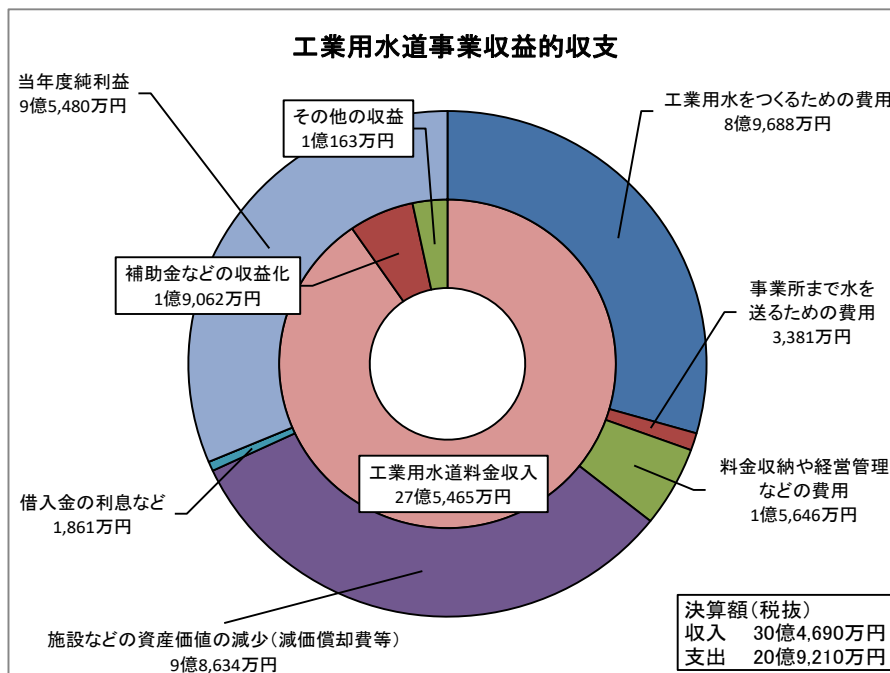


工業用水道事業損益計算書

【2021年(令和3年)4月1日から2022年(令和4年)3月31日まで】

(税抜)

科 目		決 算 額	円グラフの表示
営業収益	給水収益	27億5,465万円	工業用水道料金収入
	他会計負担金	1万円	その他の収益
	その他営業収益	1,036万円	
営業費用	原水及び浄水費	8億9,688万円	工業用水をつくるための費用
	配水及び給水費	3,381万円	事業所まで水を送るための費用
	業務及び総係費	1億5,646万円	料金収納や経営管理などの費用
	減価償却費	9億8,159万円	施設などの資産価値の減少
	資産減耗費	475万円	
営 業 利 益		6億9,153万円	
営業外収益	受取利息	122万円	その他の収益
	他会計負担金	190万円	
	長期前受金戻入	1億9,062万円	補助金などの収益化
	雑収益	4,153万円	その他の収益
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	1,853万円	借入金の利息
	雑支出	8万円	その他の費用
経 常 利 益		9億819万円	
特別利益	固定資産売却益	4,661万円	その他の収益
当 年 度 純 利 益		9億5,480万円	



(2) 資本的収支(工業用水道施設の建設・改良などにかかる収入と支出)

資本的収入は、固定資産売却代金により、204万円となりました。

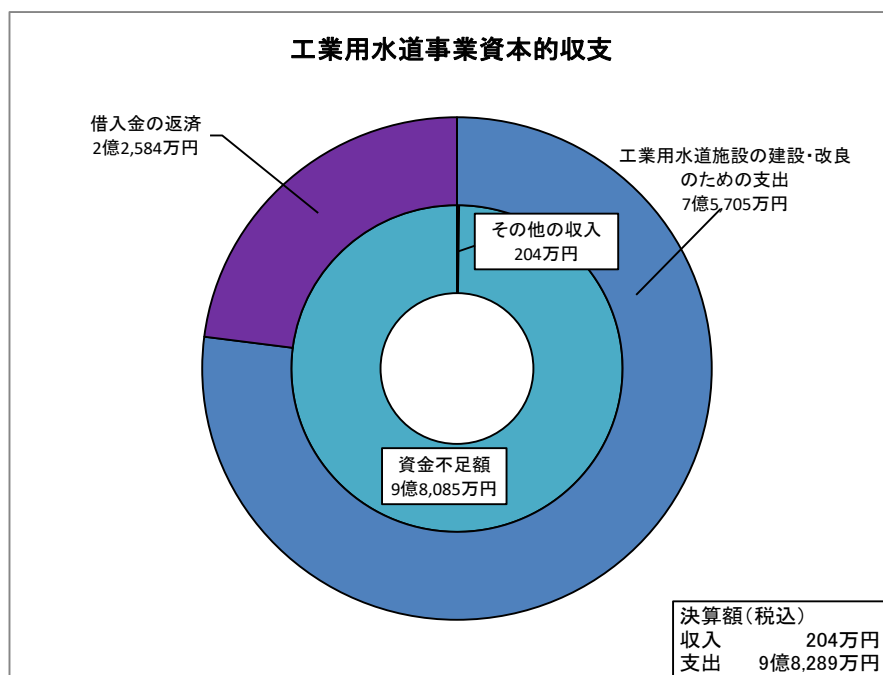
資本的支出は、建設改良費や企業債償還金(借入金の返済金)により、9億8,289万円となりました。

資本的収入が資本的支出に不足する額は、9億8,085万円となり、積立金などで補てんしました。

また、資金残高は前年度と比較して、8億3,968万円増加し、82億3,592万円となりました。

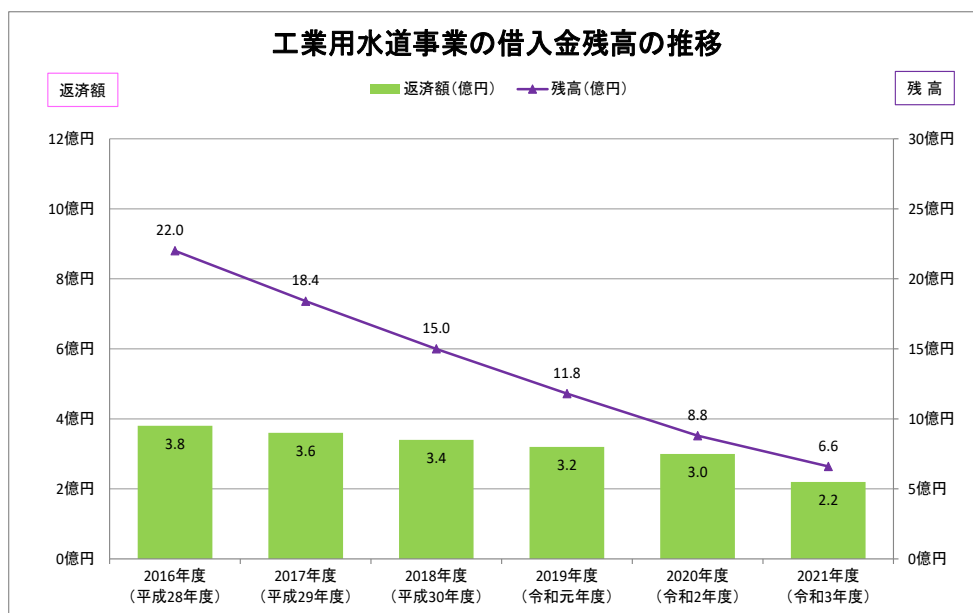
(税込)

科 目	決 算 額	円 グ ラ フ の 表 示
資本的収入	204万円	
固定資産売却代金	204万円	その他の収入
資本的支出	9億8,289万円	
建設改良費	7億5,705万円	工業用水道施設の建設・改良のための支出
企業債償還金	2億2,584万円	借入金の返済
差 引	9億8,085万円	不足額



(3) 借入金の状況

借入金の残高は、前年度に比べて2億2,584万円(25.5%)減少し、6億5,852万円となりました。



※2003年度(平成15年度)以降新規借入はありません。

(4) 貸借対照表

工業用水道事業の財政状態を示す貸借対照表は、次のとおりです。

工業用水道事業貸借対照表

【2022年(令和4年)3月31日】

(税抜)

固定資産	185億8,782万円	負債の部	
		有形固定資産	96億9,910万円
無形固定資産	88億8,702万円	企業債	4億7,955万円
投資その他の資産	170万円	引当金	2億4,034万円
流動資産	86億1,266万円	流動負債	5億5,572万円
現金及び預金	83億6,505万円	企業債	1億7,897万円
未収金	2億4,496万円	未払金	3億6,234万円
前払費用	255万円	引当金	1,441万円
その他流動資産	10万円	繰延収益	36億9,041万円
		長期前受金	36億9,041万円
		資本の部	
		資本金	193億6,432万円
		資本金	193億6,432万円
		剰余金	28億7,014万円
		資本剰余金	2億6,135万円
		利益剰余金	26億879万円
		(うち当年度純利益)	(9億5,480万円)
合計	272億48万円	合計	272億48万円

(5) キャッシュ・フロー計算書

工業用水道事業の現金・預金の増減を示したキャッシュ・フロー計算書は、次のとおりです。

(税抜)

項目	現金・預金の増減
前年度末の現金・預金の残高	72億7,583万円
業務活動によるキャッシュ・フロー (工業用水道料金の収納や工業用水の供給などに伴う現金・預金の収支)	17億3,517万円
投資活動によるキャッシュ・フロー (工業用水道施設の建設・改良などに伴う現金・預金の収支)	△4億2,010万円
財務活動によるキャッシュ・フロー (資金の調達や返済に伴う現金・預金の収支)	△2億2,584万円
当年度末の現金・預金の残高	83億6,506万円